



I 第19週の発生動向 (2025/5/5~2025/5/11)

- 水痘については、三戸+八戸市保健所管内及び上北保健所管内の注意報は解除となりました。一方、東津軽+青森市保健所管内で警報が継続しています。
- 伝染性紅斑については、中南保健所管内の警報は解除となりました。一方、三戸+八戸市保健所管内及び西北保健所管内で警報が継続しています。
- 百日咳については、上北保健所を除く5保健所管内で患者が報告されており、特に、三戸+八戸市保健所管内の報告数が多い状況が続いています。手洗い等の基本的な感染対策の徹底をお願いします。

※現在、国及び国立健康危機管理研究機構が警報・注意報の基準値について確認を進めているところですが、県の週報に記載する発生動向では、当面の間、従前の基準値を用いて注意喚起を行います。

II 第19週五類定点把握対象疾患

※記載データは、速報値です。

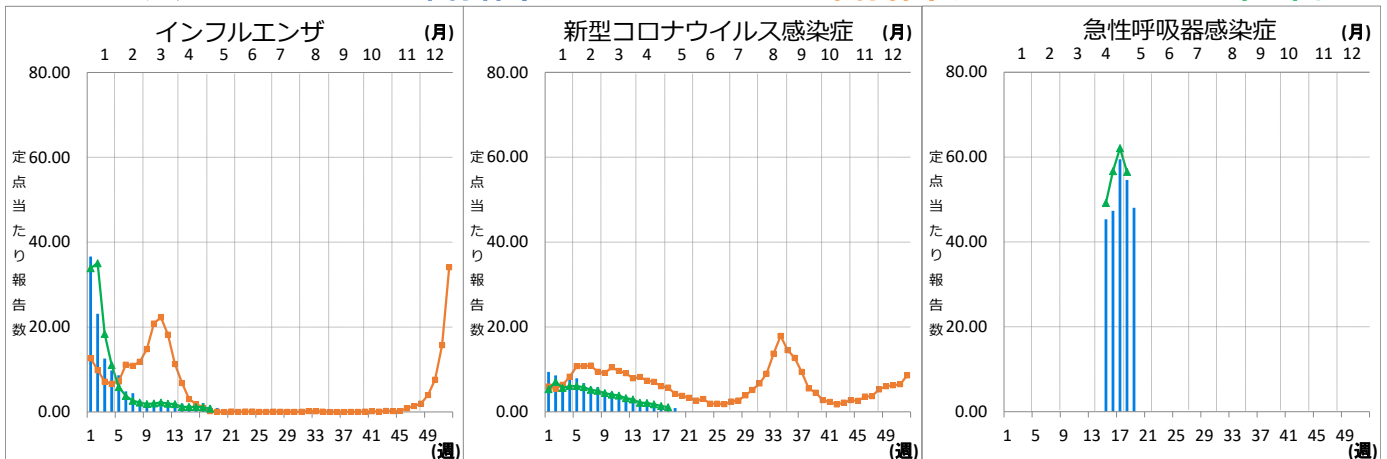
青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

は警報、は注意報。「空欄」: 患者報告無し。

		東青 (東津軽+ 青森市保健所)		中南 (中南保健所)		三八 (三戸+ 八戸市保健所)		西北 (西北保健所)		上北 (上北保健所)		下北 (下北保健所)		青森県計		前週 からの 増減
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
急性 呼吸器 感染症	インフルエンザ	3	0.27	7	0.70	5	0.50	13	2.60	20	2.22			48	0.94	-21
	新型コロナウイルス感染症	1	0.09	5	0.50	13	1.30	4	0.80	8	0.89	14	2.33	45	0.88	-17
	急性呼吸器感染症	732	66.55	323	32.30	501	50.10	266	53.20	383	42.56	246	41.00	2451	48.06	-388
小児科	RSウイルス感染症	3	0.50	1	0.17	4	0.57	2	0.50	1	0.17			11	0.33	4
	咽頭結膜熱	4	0.67			3	0.43	5	1.25	1	0.17	1	0.25	14	0.42	-8
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	0.33	2	0.33	4	0.57	6	1.50	3	0.50	5	1.25	22	0.67	-4
	感染性胃腸炎	17	2.83	10	1.67	25	3.57	13	3.25	8	1.33	4	1.00	77	2.33	-48
	水痘	35	5.83	5	0.83	4	0.57			5	0.83			49	1.48	22
	手足口病	2	0.33	1	0.17					1	0.17			4	0.12	0
	伝染性紅斑	4	0.67	4	0.67	15	2.14	6	1.50	2	0.33	4	1.00	35	1.06	-2
	突発性発しん	2	0.33	2	0.33	2	0.29							6	0.18	-3
	ヘルパンギーナ															0
	流行性耳下腺炎											1	0.25	1	0.03	-2
眼科	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎															0
基幹	感染性胃腸炎(ロウイルス)															0
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															0
	マイコプラズマ肺炎							1	1.00			1	1.00	2	0.33	-5
	無菌性髄膜炎															0

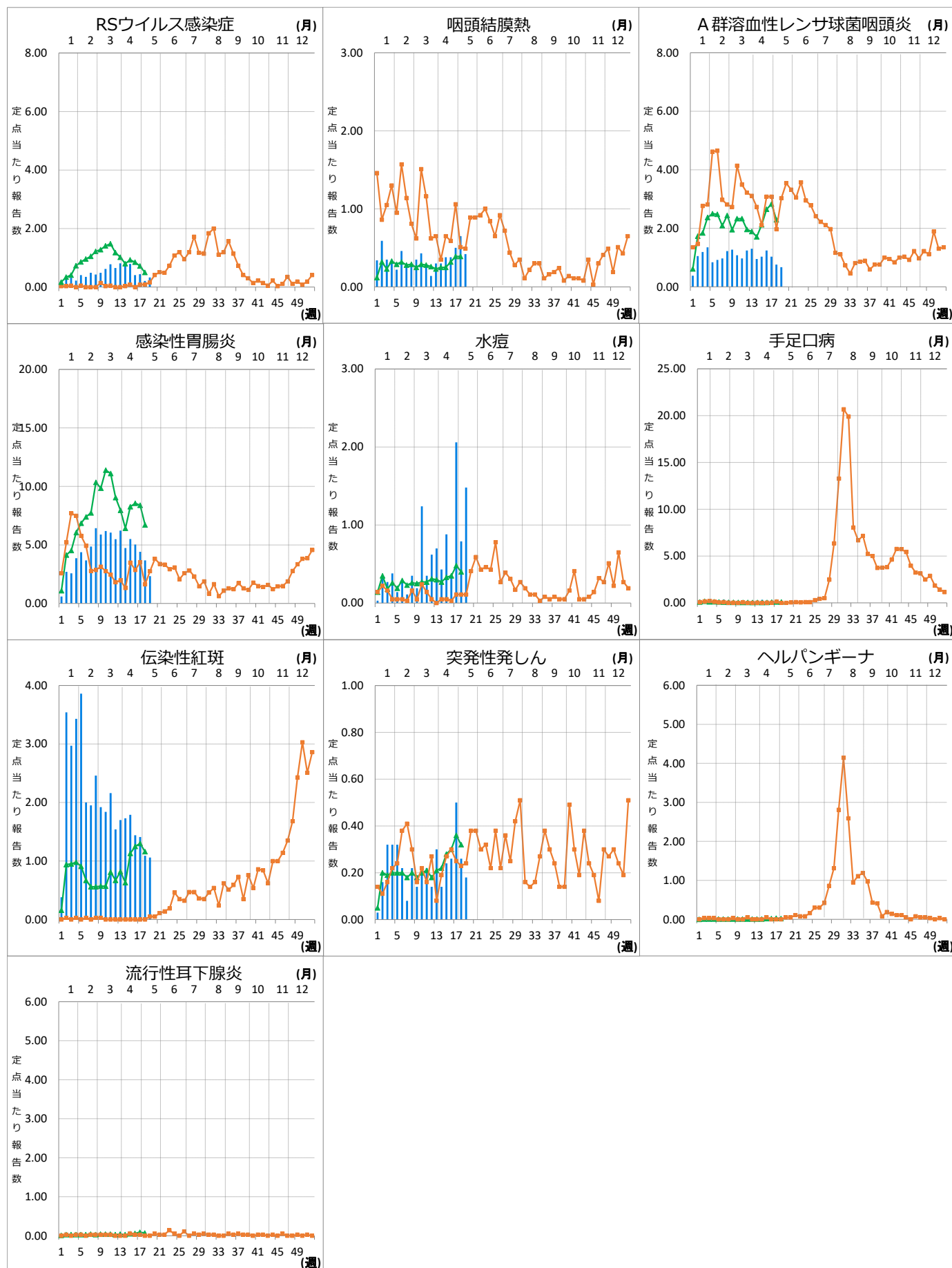
III 定点把握対象疾患週別推移(急性呼吸器感染症定点) (2025年第19週、ただし全国は前週)

グラフの説明 — は2025年青森県、■ — ■は2024年青森県、▲ — ▲は2025年全国



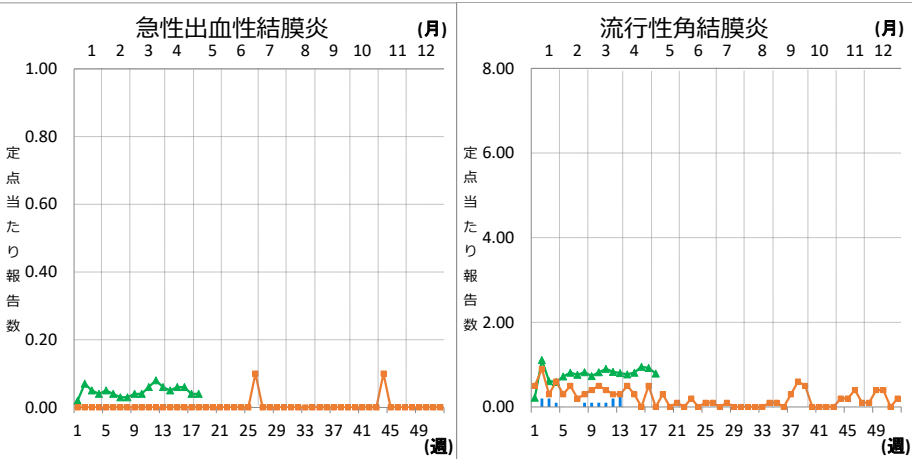
Ⅳ 定点把握対象疾患週別推移（小児科定点）（2025 年第 19 週、ただし全国は前週）

グラフの説明  は 2025 年青森県、 は 2024 年青森県、 は 2025 年全国



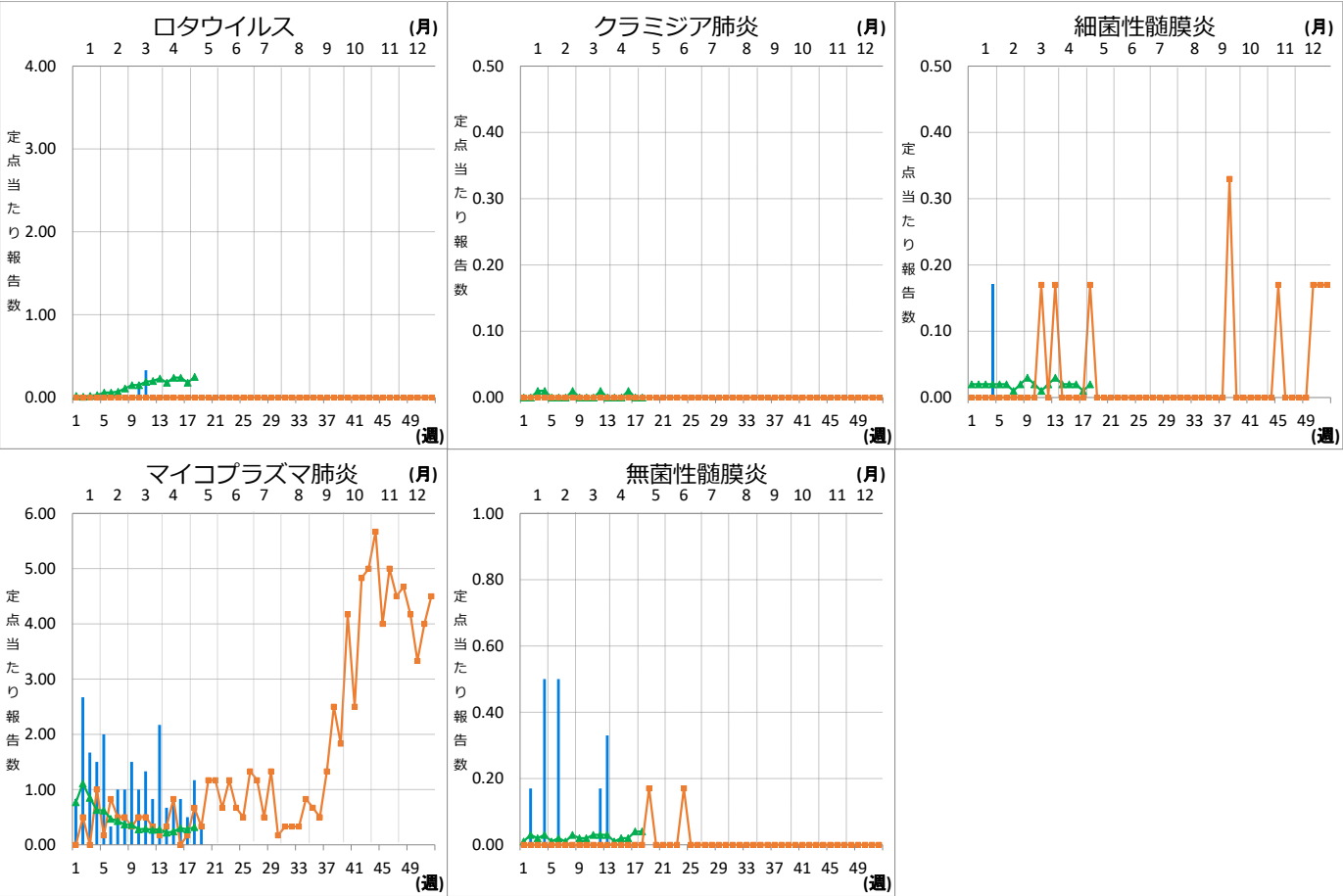
V 定点把握対象疾患週別推移（眼科定点）（2025 年第 19 週、ただし全国は前週）

グラフの説明👉——は 2025 年青森県、■——■は 2024 年青森県、▲——▲は 2025 年全国



VI 定点把握対象疾患週別推移（基幹定点）（2025 年第 19 週、ただし全国は前週）

グラフの説明👉——は 2025 年青森県、■——■は 2024 年青森県、▲——▲は 2025 年全国



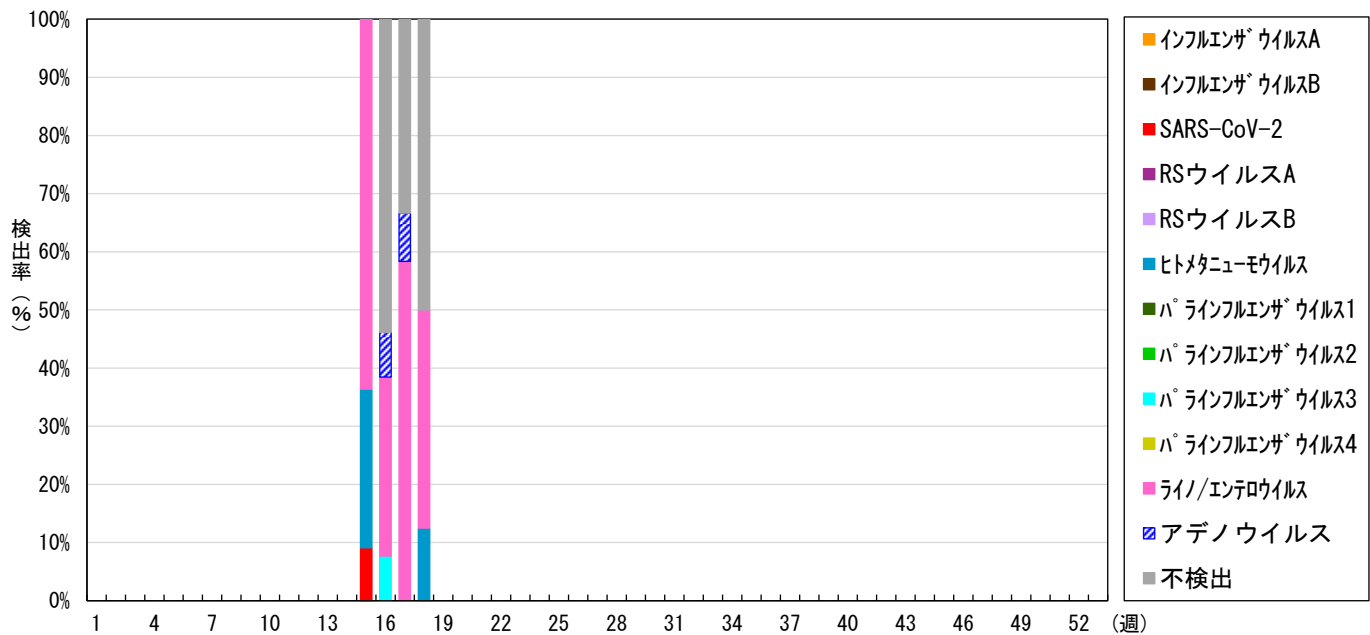
Ⅶ 急性呼吸器感染症 (ARI) 病原体検出情報

(1) 急性呼吸器感染症病原体定点からの提出検体数及び結果判明分 (2025 年第 15～19 週)

急性呼吸器感染症	2025年							
	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週
提出検体数	11	12	12	8	7			
インフルエンザウイルスA	0	0	0	0				
インフルエンザウイルスB	0	0	0	0				
SARS-CoV-2	1	0	0	0				
RSウイルスA	0	0	0	0				
RSウイルスB	0	0	0	0				
ヒトメタニューモウイルス	3	0	0	1				
パラインフルエンザウイルス1	0	0	0	0				
パラインフルエンザウイルス2	0	0	0	0				
パラインフルエンザウイルス3	0	1	0	0				
パラインフルエンザウイルス4	0	0	0	0				
ライノ/エンテロウイルス	7	4	7	3				
アデノウイルス	0	1	1	0				
不検出	0	7	4	4				
検査待ち	0	0	0	0	7			

※第16週に提出された検体のうち、1検体からライノ/エンテロウイルスとアデノウイルスが検出されました。

(2) 検出された病原体の週別推移 (2025 年第 15 週～)



Ⅶ 全数把握対象疾患発生状況（第 19 週）

- ・結核（二類感染症）：青森市 1 人、中南 1 人（2025 年計： 38 人）
- ・つつが虫病（四類感染症）：青森市 1 人、上北 1 人（2025 年計： 3 人）
- ・百日咳（五類感染症）：青森市 2 人、中南 5 人、八戸市 18 人、西北 1 人、下北 2 人（2025 年計： 284 人）

Ⅷ 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2025 年第 16 週～2025 年第 19 週）

週	東青 (東津軽保健所+ 青森市保健所)	中南 (中南保健所)	三八 (三戸保健所+ 八戸市保健所)	西北 (西北保健所)	上北 (上北保健所)	下北 (下北保健所)
16	結核1人 百日咳2人 梅毒1人	結核1人 腸管出血性大腸 菌感染症1人 百日咳10人	百日咳20人 カルバペネム耐 性腸内細菌目細 菌感染症1人	百日咳1人	結核1人 百日咳1人	百日咳1人
17	結核2人 劇症型溶血性レン サ球菌感染症1人 百日咳2人	結核2人 百日咳10人 梅毒1人	侵襲性インフルエ ンザ菌感染症1人 百日咳34人	百日咳1人	百日咳2人	百日咳1人
18	侵襲性肺炎球菌 感染症1人 百日咳2人	侵襲性肺炎球菌 感染症1人 百日咳7人	百日咳23人	百日咳2人	レジオネラ症1人 百日咳3人	
19	結核1人 つつが虫病1人 百日咳2人	結核1人 百日咳5人	百日咳18人	百日咳1人	つつが虫病1人	百日咳2人

第 18 週に三戸地方＋八戸市保健所管内で百日咳の届出が 3 件ありましたので追加しました。

X 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2025 年第 1 週～第 18 週までの累計）											
分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	エムポックス	
累積報告数	4392	3	17	449	7	2	196	51	9	1	
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	オウム病	回帰熱	コクシジオイデス症	重症熱性血小板減少症候群	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ポツリヌス症	マラリア	
累積報告数	3	2	1	17	6	47	50	32	1	7	
分類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	急性弛緩性麻痺	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	
累積報告数	548	1	161	71	554	9	227	7	59	574	
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	播種性クリプトкокクス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	
累積報告数	259	11	283	30	1671	196	4542	54	25	33	
分類	五類	五類	五類	五類							
疾病名	百日咳	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症							
累積報告数	14267	5	106	4							

青森県（2025 年第 1 週～第 19 週までの累計）

分類	二類	三類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	つつが虫病	レジオネラ症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	
累積報告数	38	5	3	4	6	1	1	4	1	3	
分類	五類	五類	五類								
疾病名	侵襲性肺炎球菌感染症	梅毒	百日咳								
累積報告数	10	8	284								

XI 病原体検出情報 ※（ ）内は、検査材料及び検体採取日報告はありませんでした。

Ⅻ 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

2025 年第 19 週
報告はありませんでした。

2025 年報告件数及び発症者数

施設種別		月(週)												計 (施設別)			
		1月 1-5週	2月 6-9週	3月 10-13週	4月 14-17週	5月 18週19週20週21週22週				6月 23-26週	7月 27-31週	8月 32-35週	9月 36-39週		10月 40-44週	11月 45-48週	12月 49-52週
介護・老人福祉関係施設	件数	1	4	4	4	1	0										14
	発症者数	7	70	69	78	11	0										235
児童・婦人関係施設等	件数	4	10	8	7	0	0										29
	発症者数	74	228	136	128	0	0										566
障がい関係施設	件数	0	2	2	1	1	0										6
	発症者数	0	37	25	10	5	0										77
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0										0
	発症者数	0	0	0	0	0	0										0
計(月別)	件数	5	16	14	12	2											49
	発症者数	81	335	230	216	16											878

感染症の窓

百日咳は、百日咳菌によって引き起こされる急性の呼吸器感染症です。普通のかぜ症状で始まりますが、次第に咳の回数が増えて程度も激しくなり、百日咳特有の咳（短い咳が連続的に起こり、続いて、息を吸うときに笛の音のようなヒューという音が出る）が出始めます。乳児では重症になり、稀に死に至ることがあります。

百日咳が五類全数把握対象疾患に位置付けられた2018年以降の県内における年齢別報告数の推移は図のとおりです。全数把握対象疾患としてサーベイランスが開始された2018年頃は、0～9歳の報告数が最も多い傾向でしたが、2024年以降は10～19歳の報告数が最も多くなっており、学校等の施設内での流行が原因の一つとなっている可能性が考えられます。2025年の報告数は第18週時点で既に250人を超え、これまでの過去最多であった2018年の85人を大きく上回っており、今後も流行が続く可能性がありますので注意が必要です。

百日咳にはワクチンがありますので、接種対象者をもつ保護者の方は、かかりつけ医に相談の上、接種の検討をお願いします。また、感染経路は飛沫感染と接触感染ですので、周囲で発症者がいる場合は、手洗いやマスク着用など、基本的感染対策の徹底をお願いします。

百日咳を「単なる咳」として放置していると、家庭や学校、会社内で広がってしまったり、周囲の子どもに感染させてしまう可能性がありますので、咳が続く場合は早めに受診し、治療を受けるようにしましょう。

○詳しい情報はこちらをご覧ください。📄 [百日咳\(厚生労働省 HP\)](#)

百日咳が流行しています！

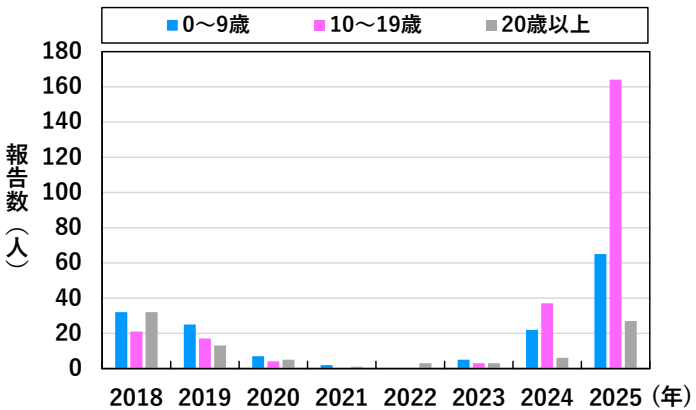


図 県内における年齢別報告数の推移 (2025 年は第 18 週までの累計)

